

W3C (World Wide Web Consortium)

World Wide Web Consortiumは、WWWの持つあらゆる可能性を引き出すことを目的とし、規格の制定（ただし、最終的なインターネット標準は、IETFの標準化トラックに沿って決められるため、W3Cの活動が、即標準となるわけではない）と、そのリファレンスとなるソフトウェアを決めるためのコンソーシアムで、1994年9月に活動を開始して以来HTTPやHTMLなどのワーキンググループを構成して活動している。

当初からアメリカではMIT LCS、ヨーロッパではINRIA（仏）が共同して運営している。現在、日本に東南アジア地区の活動拠点を設置することを検討している。現在のメンバーは約140社で、ベンダーからは独立した存在である。メンバーリストは<http://www.w3.org/pub/WWW/Consortium/Member/List.html>を参照できる。

<活動分野>

1. HTTP
 2. HTML
 3. PICS (Platform for Internet Content Selection)
コンテンツレーティングとラベリング
 4. Security
 5. Mobile Code
Javaや Safe-Tclなど
 6. Payments
Webを使った電子決済
 7. Demographics
より多くの情報を伝えるための表現方法
 8. 国際化
 9. CGI (Common Gateway Interface)
HTTPサーバ側で他のプログラムとのインターフェースを行う手段
 10. Addressing
URLの文法の拡張
 11. Graphics
Webに適したイメージフォーマットの開発
- 最新の活動状況は、

<会員になるには>

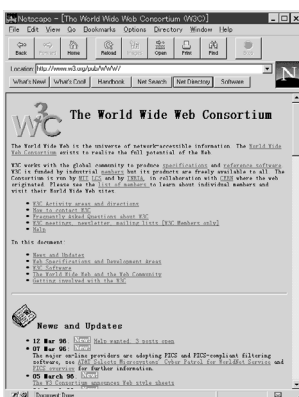
どのような団体、企業でも契約すれば参加することができるが、IETFとは異なり、個人では会員になることはできない。会員には、Full会員とAffiliate会員の2種類があり、Full会員には売り上げ額が5,000万ドル以上という制約がある。

<問い合わせ先>法的な問い合わせ以外は下記へ

Tim Berners-Lee
Director
W3C
timbl@w3.org
Phone: +1 (617) 253 9670
Fax: +1 (617) 258 8682

Albert Vezza
Associate Director
MIT Laboratory for Computer Science
av@mit.edu
Phone: +1 (617) 253 0531
Fax: +1 (617) 258 8682

(向川信一・高崎敬雄)



W3Cのホームページ



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp